

町自連だより

2012年10月1日

☎ 042-648-6110

2012年9月現在
町会自治会数 23地区324
加入世帯数120,280世帯

広告の 株式会社ヒラツカ印刷社
お問い合わせ先 TEL:042-623-0381

八王子わが町

大山隆玄大僧正

高尾山薬王院第三十二世 貫首

高尾山を八王子の人々の心の財産として、大切にしていたただきたいと願っています

今回の「八王子わが町」は、八王子を代表する観光名所「高尾山」にあるお寺「薬王院」の貫首(寺を代表される方)、大山隆玄さんにご登場いただきます。

大山さんにとって、八王子とはどのような場所ですか？

大山さん(以下O) 高尾山

薬王院は開山より約1300年間、無事に寺を保つことができました。これは、八王子の発展のおかげ

げはもちろんのこと、時の八王子領主をはじめとする先人たち、そして現在八王子に暮らす多くの人々の深



い理解と信心、ご支援があったからこそ成り立つ事です。ですから、どんな場所かというよりも、ただひたすら市民の皆さんに感謝をしています。

衷心より念じてやまないところですよ。こうした、良くも悪くも変動し移ろう昨今の世の中において、科学の進歩による利便性や経済的豊かさだけでは心身の安穩に満たないと気付かされたのではないのでしょうか。だとすれば、便利や豊かさなど様々な物事を判断する人の心こそがいよいよ大事だと思えます。高尾山では日々、心を律し正す修験道山伏の修行が行われ、世の平穩を一心に祈念しております。心のふるさと祈りのお山が高尾山であり、八王子に暮らす人々の心の財産としていつまでも大切にしたいただきたいと願っています。

八王子に期待することは、高尾山をはじめとする多くの森林が広がるこの町には、由緒正しい歴史と様々な文化が丁寧に伝承されています。こうした先人たちの精神的遺産を尊重しつつ、明るく希望に満ちた未来を切り開いていってほしいと願っています。

市民の皆さんへメッセージをお願いします。

○ 激動の社会情勢の中でご近年、誠に心痛むことが世界中で絶え間なく起こっています。また、世界規模の環境異変、東日本大震災と大津波、さらにはその後の台風による日本各地の水害など、不幸にも多くの方々が災害に遭遇なされています。まさに心痛の極みであり、一刻も早い復興と共に心身の立ち直りを

大山隆玄氏 プロフィール

- 1934年 市内「吉祥院」にて誕生
- 1957年 得度
- 1958年 高尾山薬王院入山
- 1993年 高尾山薬王院第三十二世貫首就任

いざという時の備えは大丈夫？

もう一度『防災意識』を

高めましょう！

東日本大震災から約1年半、その影響は私達の生活に未だ大きな爪あとを残していますが、一方で日頃からの防災意識が少しうすれてきてはいないでしょうか？「まさか」の時に備えて、もう一度身の回りを点検しておきましょう。

■八王子市の災害対策

東日本大震災での被害をはじめ、最近では九州地方の水害など、その甚大な被害は記憶に新しいところで

す。八王子市も平成20年8月に起きた豪雨の影響で、土砂災害や床上浸水などの被害が実際に出ており、こういった被害がいつ起ることも限りません。東京都が発表した「首都直下地震による東京の被害想定報告書（平成24年4月）」では、八王子市に一番被害を及ぼすのは、多摩直下を震源とする

る地震であると想定、八王子市でも『多摩直下地震』の被害を想定して備えています。

市の非常時対応について、八王子市生活安全部防災課によると、「まず必要になってくる食糧に関しては、都が発表している被害想定人数を基に、避難所生活者や帰宅困難者に合わせて都・市が人数分を確保、市内の各避難場所等に配置しています。しかし、この想定数は東日本大震災前の平成18年に発表されたもの

を基準としています。今年新たに発表された被害想定人数はこの数を大幅に上回るものであったため、市としても今年度から新しい被害想定に合わせて、備蓄などの災害対策を進めています。」という事です。

その他、市では日頃から警戒すべき地域や場所をまとめた「洪水ハザードマップ」なども作成、都などが行う整備事業と共に、いざという時に、どのように避難したらよいか、どのような点に注意しておくべきかなど

の準備や、市民への注意喚起をしています。

■自分の身は自分で守る「自助」

都や市は、災害時に市民の安全を確保すべく日頃から備えています。が、なんといつても必要なのは、自分のことは自分で守る「自助」の考え方です。災害発生時、救援物資は道路が寸断されるなどで、すぐに手に入らないということもおおいに想定されます。そこで重要なのは、それまでの間、自分の力で「生き抜く」ということです。

まず考えなければいけないのは、食糧、飲料水、生活物資の確保です。これは最低でも3日間程度、余裕があれば1週間くらいは

備えがあると安心です。また、普段から「すぐに持ち出せる場所」に置いておくことも重要です。ただし、欲張りすぎて荷物が重くなりすぎると「持ち出せない」ということもあるので、男性であれば15kg、女性は10kgを目安に持ち出し品を用意してください。

■人によって「非常持ち出し品」は違う！

災害時の備えという点、どうしても食糧や飲料水などが中心になりますが、処方されて服用している薬や、小さいお子さんがいる家庭などで必要なミルクやオムツなどは、災害時にすぐに入手するのは困難です。特に、薬は個人で全く違いますので、日頃から少し余裕をもって用意しておくことが非常に重要です。このように、各人によって「最重要」になるものは違いますので、「自分が生活するためには何が必要なのか」を、よく考えて備えることも大事です。



災害持出品セット例
写真提供 東京都葛飾福祉工場



日頃の防災訓練も大事
(恩方地区防災協議会)

町自連だより

■まわりの人と協力し合う「共助」も大切

災害時に大きな力となるのは、となり近所や地域の人との協力です。そのためには、日頃から近隣の人々を知っておく「近所、コミュニティ」を取り組むことがとても大切です。特に高齢者や、高齢者や小さい子どもが近くににいる人は、有事の際に声をかけ合ったり、助けが必要な人を手伝う「共助」で、みんなが助ける、助かるという心がけが大事です。

■家で「防災会議」を開きましょう！

いくら日頃の準備が完璧でも、家族がその情報を共有していなければ、せっかくの備えも活かすことができません。そこで、日頃から定期的にご家庭で「防災会議」を開催することをおすすめします。避難場所や連絡方法の確認、持出品の点検などをしながら「わが家の防災対策」を家族で共有しましょう。

災害時持出品リスト | リストを参考に持出品をチェックしましょう

一次持出品 まず最初に持ち出すもの。リュックサックなど、両手が使える袋を準備しましょう

ラジオ	AM、FM 両方聞けるものが便利。予備の電池は多めに準備。
救急箱	ばんそうこう、包帯、傷薬、鎮痛剤などの他、常用薬も忘れずに準備。
非常食品	乾パンや缶詰など火を通さなくて食べられるもの。ミネラルウォーター、水筒、紙コップ、ナイフ、缶切りなど。
貴重品	現金、通帳類、証書類、免許証、印鑑、身分証明書など。
懐中電灯	できれば一人一個。予備の電池も忘れずに
その他	下着、上着、レインコート、タオル、ティッシュペーパー、ウェットティッシュ、ライター、ろうそく、軍手、ヘルメットなど。 小さなお子さんがいる家庭では哺乳瓶、粉ミルク、紙オムツなども準備。

二次持出品 災害復旧までの数日間(最低3日分)自活できるように準備しましょう

食品	米(缶詰やレトルトごはん、アルファ米など)、缶詰やレトルトのおかず、菓子類、調味料など。高齢者や乳幼児用のものがが必要な家庭では、専用の食品の準備を。 また、缶切り、栓抜きも忘れずに準備。 ※消費期限にも注意して、定期的に内容を見直しましょう。
食事に必要な用品	割り箸、紙コップ、皿、ナイフ、ラップなどがあると便利。
水	飲料水は一人1日3ℓを目安にポリタンクなどに用意しておく(煮沸してから飲む)。
燃料	卓上コンロ(予備のガスは多めに準備)、携帯コンロ、固形燃料など。
その他	生活用水(洗濯機や風呂に備蓄)、毛布、洗面具、鍋、ビニールシート、バケツ、新聞紙など

参照：総務省消防庁 HP、八王子市 HP

八王子市とともに歩み続けて 50 年。

より良質で安心な医療・介護を目指します。



JR 西八王子駅南口
東京都指定二次救急医療機関

南多摩病院

新棟「救急医療センター」開設

永生病院 永生クリニック

介護老人保健施設 イマジン グループホーム 寿限無

通所リハビリテーション スマイル永生

訪問看護ステーション とんぼ めだか ひばり いるか

居宅介護支援事業所 片倉 スマイルえいせい

八王子市地域包括支援センター 片倉 寺岡

シャトルバス 永生病院⇄めじろ台駅⇄南多摩病院(西八王子駅)

<http://www.eisei.or.jp>

医療法人社団 永生会



みんな繋がっている安心
永生会の機能を知る、ご相談窓口。

▶ 永生会総合コールセンター ☎0120-001-083

市と共催で役員研修会を開催

町会・自治会長ら180名が参加

町自連は6月23日(土)八王子市教育センターにおいて平成24年度研修会を八王子市と共催で実施しました。これには180名の町会・自治会長らが参加し、「町会・自治会長の役割」をテーマにした講演、事例発表をはじめ、市からの協働のまちづくりにむけた窓口等について説明を受けました。

研修会を開催するにあたって冒頭、秋間会長は「今日は行政との共催で研修会を開催した。町会長の心構え、行政との連携を通じた

町会の活性化、効果的な町会活動の推進について学んでいただき有意義な研修会としたい」と挨拶しました。石森八王子市長は「八

王子市の町会加入率は63%で東京都のなかでも最大の規模である。地域力を高めるために、加入率を高める必要がある。加入率アップのためにハンドブッ

クを作成する。また、町会へ入ってもらうような条例も検討してみたい」と考え方を明らかにしました。

事例発表では明神町4丁目町会長の上田幸夫氏が「明神町地域での防災訓練の実施について」の内容を詳細に亘って説明されました。

町自連は研修会参加者を対象にアンケート調査を実施しました。配布数168、回収数110で回収率は65.5%でした。この研修会には町自連未加入の町会・自治会が16団体も参加していましたが、11団体がアンケート調査に協力していただきました。



事例発表を熱心に聞く各町会・自治会長の皆さん

町会の活性化、効果的な町会活動の推進について学んでいただき有意義な研修会としたい」と挨拶しました。石森八王子市長は「八王子市の町会加入率は63%で東京都のなかでも最大の規模である。地域力を高めるために、加入率を高める必要がある。加入率アップのためにハンドブッ

クを作成する。また、町会へ入ってもらうような条例も検討してみたい」と考え方を明らかにしました。

事例発表では明神町4丁目町会長の上田幸夫氏が「明神町地域での防災訓練の実施について」の内容を詳細に亘って説明されました。

町自連は研修会参加者を対象にアンケート調査を実施しました。配布数168、回収数110で回収率は65.5%でした。この研修会には町自連未加入の町会・自治会が16団体も参加していましたが、11団体がアンケート調査に協力していただきました。

- 講演&事例発表
 - 町会・自治会長の役割をテーマに渡辺副会長が講演しました。とくに町会・自治会活動の現状と課題では依然として町会長の在任期間が平均1年半程度と短く、結果として活動の継続性が図りづらい現状であることが強調されました。また、各地区連合会の活動の落差が大きく平準化、レベル向上が喫緊の課題であると指摘しました。
- 防災の現状と課題
 - 「市の防災の現状とこれからの取り組み」について生活安全部防災課長の野口庄司氏が報告しました。このなかで、東日本大震災以降、防災に対する関心が高まり、市への問い合わせが多くなっていることを指摘。特に防災無線の増設、スピーカーの向きの変更、聞き漏らした方には専用電話での対応、テレメディア
- アンケート調査
 - 町自連は研修会参加者を対象にアンケート調査を実施しました。
 - 配布数168、回収数110で回収率は65.5%でした。この研修会には町自連未加入の町会・自治会が16団体も参加していましたが、11団体がアンケート調査に協力していただきました。
- 6つの窓口から説明
 - このあと、町会活動で最も関係の深い協働推進課、防災課、ごみ減量対策課など6つの窓口と社会福祉協議会から課題別にそれぞれの内容が報告されました。
- アンケート調査
 - 町自連は研修会参加者を対象にアンケート調査を実施しました。
 - 配布数168、回収数110で回収率は65.5%でした。この研修会には町自連未加入の町会・自治会が16団体も参加していましたが、11団体がアンケート調査に協力していただきました。
- 町会・自治会関係の窓口はこちらだ！
 - 協働推進課
 - 事務交付金・公衆街路灯設置、維持管理補助金、集会所施設整備補助金、町会・自治会での法人格の取得や運営に關する相談
 - 防災課
 - 防災資器材、自主防災会、消防団
 - ごみ減量課
 - 資源物の集団回収
 - 暮らしの安全安心課
 - 自主防犯活動
 - 道路事業部補修センター
 - 道路補修依頼、道路照明灯管理、カーブミラー設置依頼
 - 道路事業部計画課
 - 道路アドプト制度
 - 公園課
 - 公園アドプト制度
 - 健康福祉総務課
 - 災害時の要援護者支援

国際交流を深めた納涼祭

小比企町1丁目町会

小比企町1丁目町会（町会長 石松弘好・世帯数 582）は7月21日（土）、由井第3小学校で納涼盆踊り大会を開催しました。

今年のテーマは国際交流

及び世代間交流による地域の活性化をいっそう促進しようとするもので、これには八王子国際協会（理事長 岡添健介）を通じて近隣の拓殖大学など18名を超える留学生が参加しました。

第一部は午後1時30分から自転車交通安全教室を南大沢交通安全協会、南大沢警察署の全面的な協力により開催し、これには小学生、中学生、外国人留学生、寿会をはじめ220名が参加しました。

とくにスタントマンによる交通事故模擬体験を取り

入れた交通安全教育、自転車運転模範演技指導、自転車運転違反箇所発見クイズなど、楽しみながら事故防止と交通安全意識の高揚を図ることができました。

夜6時から恒例の盆踊り大会が盛大に開催されました。会場にはかき氷、焼き鳥、フランクフルトなどの出店のほかに、異文化を体験してもらうため、韓国の代表的な料理「チヂミ」、鶏肉を使ったペルー料理「エスカベチエポシヨ」などが出店し、売店の前是人盛りで賑わいを見せました。八王子国際協会のテントでは、生活ハンドブックや医療カードなど各種のチラシ、パンフレットが展示されました。

盆踊りでは寿会の方が留



各国料理をふるまう八王子国際協会のみなさん

学生に「ゆかた」の着用の仕方や踊りを教え、盆踊りの輪に加わってもらい、地域の住民との交流を深めました。

石松町会長は「納涼祭で2つの目的が達成でき、地域の活性化に少なからず貢献できたと思う。この活動を今後も積極的に取り組んでいきたい」と決意を明らかにしました。

町自連の要請が実現

事務交付金などを増額

八王子市は6月の補正予算で町会・自治会活動を支援するために、事務交付金の30円アップをはじめ、集会施設整備補助金、町会等公衆街路灯設置維持管理補助金の増額などを決定しました。

これは、町自連がかねてから町会・自治会活動の活性化のために行政に対して財政支援などを粘り強く要請してきた大きな成果であります。

心なまちづくりに積極的に取り組んでいる町自連の活動が積極的に評価されると共に、行政においても「町会・自治会が協働のまちづくりに果たす役割は非常に大きい」という認識が高まっていることを示しています。

町自連は今後も、町会・自治会活動に必要な財源確保をはじめ、各地区が掲げる政策課題などについて行政と積極的に協議をしていく考えです。

元八王子北條氏照まつり

日本100名城を有する元八王子地区で10月21日（日）に「北條氏照まつり」を開催します。当日は総勢100名の武将が高尾街道を武者行列します。30町会による町民のための12,000世帯6万人の祭典です。



問合せ ☎042-626-0303 町田まで

詳しくは、八王子市各事務所に設置してある元八王子北條氏照まつりのプログラムを参照してください。

「町自連だより」にあなたの企業をPRしませんか？

この「町自連だより」は、八王子の12万世帯に配られています。八王子の皆さんに、あなたの会社を告知しませんか？
広告出稿のお問い合わせは

☎042-623-0381

ヒラツカ印刷社 担当平塚、鈴木まで

檜原斎場

〒193-0803 東京都八王子市檜原町1578番地5
TEL: 042-620-3101

年3回無料で葬儀セミナーを開催しています。詳しくは市の広報でお知らせしています。



どなたでもご利用いただけます。

檜原斎場は、祭壇が常設されているため、ご葬儀費用が大幅に節減できます。また、壇払いや年忌法要専用のお部屋もご用意しています。ご見学やご相談は、お気軽にお問い合わせください。

■JR八王子駅北口7番/京王八王子駅3番のりば→「檜原町」バス停下車、徒歩7分
■JR西八王子駅2番のりば→「四谷並木橋」バス停下車、徒歩7分 ■場内駐車場180台。第2駐車場200台。

町会・自治会活動ダイジェスト

ふれあいのまちづくり

東北部地区連合会



多摩川と日野市に接した東北部地区連合会(会長:大谷平行)は、15団体の町会、自治会(7,500世帯)で構成し、石川地域住民協議会と共に地域のコミュニティ活動を推進しています。

毎年、石川地域住民協議会が開催する8月の「石川市民センターまつり・福祉のつどい」、11月の「文化祭」、1月の「どんと焼き」は地域住民に定着した3大イベントとなっています。当連合会はこれに積極的に連携・協力を行っています。

本年は石川地域住民協議会創立(石川市民センター開設)20周年の節目を迎え、それぞれのイベントに「開設20周年記念」の冠を付し、さらに充実を図っているところです。

8月に開催した「石川市民センターまつり・福祉のつどい」では納涼盆踊り、歌謡ショー、夜店等には、会場を埋め尽くすほどの多くの来場者がありました。連合会は夜店に各町会・自治会単位の専用ブースを設け、センターまつりを大いに盛り上げることができました。各町会・自治会は日頃の地域でのイベント経験を活かし焼き鳥、フランクフルト、飲み物、ヨーヨー釣りなど多種多様な出店で子供たちをはじめ多くの方々大変喜んでいただきました。

今後も地区連合会は、地域に根ざしたコミュニティ活動を推進していきます。

辺名町会の今昔

辺名町会(恩方)



辺名町会(会長:野崎良一)は恩方地区に所在し、当所には「銘木辺名の桜」「芭蕉の句碑」などが存在しています。

戦前は繭の元となる「桑」の生産を主たる業とする村落で、当時の状況は作家「きだみのる」により描かれた「気違い部落」にも掲載、映画化されました。

しかし、戦後は街道モリアオカエルの道沿線には戸数が増え、砕石業の進展などにより、農道は舗装され通称ダンプ街道へと変容しました。昭和30年代の部落の状況は文化的遺産および価値ある伝統文化を残す以外は次第に消え失せ、今は存在していません。

現在、町民あげての「正月どんと焼き」、金山神社の祭礼時の「行灯作り」などは当町会の過去から現在へと繋がる長き良き伝承の一つでもあります。

また、町会会館の新築や金山神社の再建など多額な資金を伴う大事業は、町民共有地の売却や町民寄付により実現しました。

今年はじめて実施した「持ち寄り野菜市」は高齢者自らが発案した活動であり、このような新たな動きを絶やすことなく続けていきたいと考えています。

近年、圏央道インターチェンジ開通、介護施設建設などを契機に町会周辺は企業参入がなされています。江戸時代に流行った里唄「おつなところに辺名の桜、お手は届かぬ観るばかり」で唄われたように「和やかな気風による町民相互の絆」を強め、縄文・弥生時代に当地で暮らした先人に恥じない「暮らしやすい町」をめざします。

若い人中心の町会行事

東雲町会(横山南)



東雲町会(会長:渡辺豊久)は280世帯で構成されています。新しく町会に加入した人や他の町会の人たちから「東雲町会」は何と読むのかとよく聞かれます。

語源から言えば「東雲」とは夜明け、明け方の意味。日の出を迎え、東の空が赤く染まり、薄く浮かんだ雲があかね色に変わっていくのを見た故人(いにしえびと)が「東雲のほがら、ほがらと明けゆけば…」と和歌にも詠われたすばらしい1句から町会名としました。

東雲町会は散田町の東に位置し、西八ハイツから教育センターの先まで南北に長い町会です。春には富士森公園の桜が見事です。

町会行事は若い人を中心に行っています。夏まつりは近隣の町会、自治会のなかでは一番早い7月に開催し、メインの7中プラスバンドの演奏には若い人や子供たちまで多く集まり、相乗効果は抜群です。

今年の夏祭りは昨年が続いて節電に協力しました。発電機を横山南地区連合会から借用し、照明やかき氷の電源に使用しました。節電をしての夏まつりは大成功でした。

暮れの餅つき大会も若い人を中心に行います。60キロを午前中でつきあげます。子供たちも多く、餅と豚汁の味は絶品です。

高齢化が進む中で、若い人たちの町会行事への積極的な参加は町会にとって大きな力となっています。

町会は今年で結成して55年を迎えています。

みんなの介護
みんなの医療

今、私が思うこと

数井学 数井クリニック代表

今回は八王子市で早い時期から訪問医療に携わってこられた数井学先生が、皆さんにメッセージをくださいました。数井先生をご紹介くださった、この連載の主幹である加藤公恵さん(医療法人社団 永生会 在宅総合ケアセンター センター長の推薦の言葉から聞いてください。

加藤公恵さんより

数井先生は、年間70件もの「在宅看取り」に携わり、早くから訪問医療の大切さを訴え、それを実行されて来た先生なんです。「人間が死ぬ時は医者は何もできないもんなんだ。見守るだ

けなんだよ」と口にしつつ、フットワークの軽い医療を心がけている。数井先生がいらっしゃれば、在宅の介護も怖くない、と思える方です。

数井先生インタビュー

■高齢者パワーで八王子を活性化!

せっかく、八王子の12万世帯の方々に読んでもらえるという媒体。ここで今更高齢者介護を語っても、すでに介護の本やネットメディアに情報はあふれています。そこで、提言したいことはシルバーパワーによる「八王子活性化計画」です。私は静岡市の生まれで、縁あって15年前から、八王

子で医者として働くことになりました。その頃から「八王子には昔の元気がない」と言われるのを耳にしましたが、八王子には宿場町としての味わいが残り魅力があるんだから、シルバーパワーを活かさない手はないと思うのです。イオンモールの平日は、車椅子介助された高齢者で賑わうことがあると聞いたことがあります。それにならって、近頃元気がない甲州街道沿いの、昔ながらの町並みを持つ商店街をもっと「高齢者が懐かしみながら楽しめる町」にするんです。車椅子も視覚障害の方

も歩きやすい、バリアフリーのアーケードは勿論のこと、マンションに土地活用するより介護施設で生活する高齢者たちがバスで乗り入れられる駐車場を作り、さらにはコミュニティ広場を作り、そこを基点に甲州街道を散策し、軽節やお茶を買ったり、着物を眺めたりして楽しむ。そして、ひとり身になった男性は大抵家に閉じこもってしまっているが、低賃金でい

いから働ける店ができれば、元気高齢者が介護高齢者とやり取りできる。昭和レトロのカフェでヘルパーに付き添われた認知症の方が、楽しい時間を過ごして昔を懐かしめる風景はすばらしいと思います。おじいちゃんおばあちゃんに連れられて、子供や孫など様々な年代の人も集まってくる。そんな活気ある街をシルバーパワーで復活させたいと願っています。自分ではひそかに甲州街道プロジェクトと名付けて楽しんでるんですよ。

子育てナンバーワンのまちを目指して

「子育て応援企業」

が活動中!

みなさんは、八王子市が独自で作った「子育て応援企業」という制度をご存知ですか? 『子育てしやすい職場環境』『家族連れのお客様への優遇サービス』『子ども、親子が参加できるイベントの開催』などを積極的に行う企業が、八王子市子どもしあわせ課へ申請・登録される制度です。この制度は平成19年より、まちぐるみで子どもが健やかに育つ環境をつくることを目指してスタート。八王子市は「子育てナンバーワンのまち」をスローガンに掲げ、各種事業に取り組んでいます。市だけでなく、地元企業や商店などと地域密着で行うことが実現につながると、広く参加企業を募りました。

現在158事業所77団体(8月現在)もが登録。すでに登録した企業からの紹介で、新たに参加する企業も増えています。参加している企業は「子育て応援カフェ」という子育て応援企業同士の情報交換会や、各種イベントへの参加などを行っています。「子育て」というキーワードを通じて「自分たちができること」を真剣に考え、子ども達のためにひとつひとつ形にしていこうと頑張っている「子育て応援企業」。ぜひ市民のみなさんにも見守っていただきたい、すてきな取り組みです。



幸運の四葉のクローバーに子どもと大人の笑顔を重ねたシンボルマーク



数井先生(前列)とスタッフ

JR八王子
駅ビル

「セレオ八王子
北館」が

10月下旬にいよいよオープン!



さる1月下旬に閉店した「ぞう八王子店」に替わり、10月下旬に「セレオ八王子北館」がオープンします。「八王子 ライフスタイル ステーション」をコンセプトに、世代を超えて楽しめる駅ビルに生まれ変わります。

多摩地区最大級となる食品売り場は、普段の食事はもちろん、特別な日に食べたい食材や惣菜、スイーツまで幅広く網羅できる店が

運営するJR東西駅ビル開発の担当者からは「この世代の方にも繰り返して来店いただき、楽しめる施設を目指しています。地元の方々の意見をお聞きしながら、共にこの『セレオ八王子』を心地よい空間に創り上げていければと思っていますのでご期待下さい」と熱いメッセージをいただきました。新しい駅ビルに期待しましょう。

揃います。また、今回の開業に伴い、特に力を入れてるのが「子育て世代」の応援。赤ちゃんや子供用品の店舗の充実を図り、子供用トイレやベビー休憩室も完備、ファミリーでも安心して出かけることができそうです。

さらに、京王百貨店のサテライト店も出店予定。ギフトなどの需要にも対応し、多様なニーズに 대응します。

東急スクエア近く、韓国家庭料理の店「多馥」は、女性オーナーのチョン・ミンスクさんが約3年前に現在の場所にオープン。「八王子は出身地の韓国・京畿道と気候や立地などが似て住みやすい場所。今では韓国に帰っても“早く八王子に戻りたい”と思うほど」と八王子を愛してくれています。料理は韓国家庭料理を現地の味そのまま提供。特に人気は石焼ピビンバ、チヂミなど、参鶏湯やチゲもこれからの季節におすすめです。東日

本大震災の際、韓国に帰ろうか悩んでいると常連のお客さんがお米を差し入れしてくれながら「大丈夫だから一緒にがんばろう!」と励ましてくれ、再び奮起したそう。「八王子は本当にあたたかい人ばかり。皆さんに助けられて、今までやってこられました」とチョンさん。ランチは女性グループやOLさんなど、夜は男女問わず大勢のお客さんでにぎわう、あたたかいオモニ（お母さん）が待つ家庭的雰囲気の良いお店です。



たまにいくなら
八王子

オモニの絶品韓国
家庭料理が味わえる
多馥(タフク) 東町

多馥(タフク)
住所: 八王子市東町12-14 青木ビル3F
電話: 042-649-8128
営業時間: 月～土 11:30～14:30、
17:00～24:00
祝日 17:00～23:00
定休日: 日曜日 座席数: 65席
22～3名まで使用可能な個室あり。飲み放題、
食べ放題になる5,000円のお得なコースメニュー
もあります。詳細はお問い合わせ下さい。

共立女子大学・短期大学 生涯学習 八王子キャンパスで学ぶ

公開講座 (受講料無料)

危機の時代に文学を問い直す

10/27(土)13:00～15:30

- ◇1995年の地震と村上春樹
(講師: 文芸学部准教授 深津謙一郎)
- ◇漱石と『坂の上の雲』の時代
～日露戦争と戦後の危機と<文学>～
(講師: 国際学部教授 橋川俊樹)
- ◇日清・日露戦間期の文学～『不如帰』の悲劇～
(講師: 文科教授 高橋修)

◆上記3名の講師によるパネルディスカッション

一般向け講座

- ★日本神話の古層を探る
- ★「美の概念」からみた日本の色彩
- ★『古事記』を片手に古代出雲へ
- ★万葉集の魅力

親子向け講座

- ☆おやこでゴルフレッスン!
- ☆おやこで飛行機作り!
- ☆三味線を弾いてみよう!
- ☆吉原由香里先生のこども囲碁入門!



Photo by KOUJI HORIUCHI

共立女子学園八王子キャンパスへはJR八王子駅南口よりスクールバスをご利用ください。

お問い合わせ・資料請求 TEL:03-3512-9981(共立アカデミー)